

- 問1 ヨーロッパ連合（EU）の加盟国のうち、フランスなど多くの国々が共通通貨「ユーロ」を導入している目的や利点として、最も適切な説明はどれですか。（2017年 徳島県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. ヨーロッパ以外の地域からの輸入品に対して共通の関税をかけ、域外との貿易を完全に遮断するため | 2. 加盟国の財政政策を完全に一つに統合し、各国が独自の予算を組む必要をなくするため | 3. 国境を越えた取引における両替の手間や為替変動のリスクをなくし、経済活動を活性化させるため | 4. 加盟国がそれぞれ独自の判断で通貨の価値を自由に変更し、輸出を有利に進められるようにするため |
|--|--|---|--|
- 問2 北欧のノルウェー周辺の海域は、浅くて平らな海底地形である大陸棚が広がっており、原油や天然ガスなどの資源が豊富に採掘されています。採掘されたこれらのエネルギー資源を、陸上の消費地まで安定して輸送するために用いられている施設を何といいますか。（2018年 東京都公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|-----------|--------|-------|
| 1. 高速鉄道 | 2. パイプライン | 3. 送電網 | 4. 運河 |
|---------|-----------|--------|-------|
- 問3 EU（欧州連合）の加盟国間で見られる、一人あたりの国民総所得や経済発展レベルの不均衡について説明した文章として、最も適切なものはどれですか。（2024年 鳥取県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 2000年代以降に加盟した東ヨーロッパの国々は、西ヨーロッパの国々と比較して経済発展が遅れており、大きな経済格差が生じている。 | 2. EU加盟国はすべて共通通貨であるユーロを導入しているため、通貨の安定によって加盟国間の経済的な不均衡はすでに解消されている。 | 3. EU発足以来、イギリスなどの主要な国が離脱した事例は一度もなく、すべての加盟国が緊密に連携して均一な経済水準を保っている。 | 4. EUは域外の国々に対しても関税を一切撤廃する政策をとっているため、世界全体との自由な貿易によって加盟国間の所得差はなくなっている。 |
|--|---|--|--|
- 問4 ヨーロッパ統合の展開において、2020年に生じた大きな変化と、域内で生じている課題の組み合わせとして最も適切なものを、次のうちから1つ選びなさい。（2025年 熊本県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------------------------|---------------------------------|-------------------------------|---------------------------------|
| 1. ドイツのEU離脱と、移動の自由化による労働力不足 | 2. イタリアのEU離脱と、西ヨーロッパへの工場集中による偏在 | 3. イギリスのEU離脱と、加盟国拡大による経済格差の拡大 | 4. フランスのEU離脱と、加盟国間での関税復活による貿易停滞 |
|-----------------------------|---------------------------------|-------------------------------|---------------------------------|
- 問5 ヨーロッパ大陸は比較的高い緯度に位置していますが、その割には冬の寒さが厳しくなく、温暖な気候となっています。この理由について、風と海流の関係を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2025年 沖縄県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 上昇気流が、大陸内部で発生することによって、北極側からの冷たい空気の流入を遮断しているため。 | 2. 季節風が、寒流の影響を弱めるために大西洋から湿った空気を絶えず送り込んでいるため。 | 3. 貿易風が、赤道付近で温められた海水を北へと運び、大陸沿岸の気温を上昇させているため。 | 4. 偏西風が、暖流である北大西洋海流の上空を通ることによって、暖かい空気を大陸内部へと運んでいるため。 |
|---|--|---|--|
- 問6 イギリスの正式名称は「グレートブリテン及び北アイルランド連合王国」ですが、その成り立ちや象徴について述べた文として、歴史的背景を踏まえて最も適切なものはどれですか。（2018年 千葉県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. スコットランドはイギリスの一部であるが、国旗のデザインにその意匠が採用されたことは一度もない。 | 2. イギリスはイングランド単独の国家であり、スコットランドは自治権を持たない地方自治体である。 | 3. イギリスの国旗であるユニオンジャックには、スコットランドの旗のデザインが含まれている。 | 4. イギリスの国旗には、連合王国を構成するイングランド、スコットランド、ウェールズの三地域の旗が均等に反映されている。 |
|--|--|--|--|
- 問7 ヨーロッパの国々と通貨の関係について、現在の状況を正しく説明しているものはどれですか。（2026年 山口県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 経済政策の自由度を保つなどの理由から、EUに加盟していてもユーロを導入していない国がある。 | 2. ユーロは紙幣や硬貨が存在しない通貨であり、銀行間のデジタル決済のみで利用されている。 | 3. EUに加盟しているすべての国は、加盟と同時に必ずユーロを導入する義務を負っている。 | 4. 一度ユーロを導入した国であっても、景気が悪化した際には自由に旧通貨を再発行して併用できる。 |
|--|---|--|--|
- 問8 ヨーロッパ諸国の農業統計において、穀物自給率が150%を超え、年間約6700万トンの生産量に対して3700万トン以上の輸出量を記録している、ヨーロッパ最大の農業国として知られる国を選びなさい。（2019年 徳島県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|--------|---------|---------|
| 1. フランス | 2. ドイツ | 3. イタリア | 4. イギリス |
|---------|--------|---------|---------|
- 問9 ある国の気候と農業について説明した次の文章のうち、ロシアに該当するものはどれですか。なお、この国では1月の平均気温がマイナス10度を下回り、年間の降水量が約587mmという冷帯（亜寒帯）特有の内陸性気候が見られます。（2016年 東京都公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 季節風（モンスーン）の影響を強く受け、高温多湿な気候を利用した稲作が国の全域で盛んに行われている。 | 2. 広大な冷帯の土地を活用し、耐寒性のある小麦の生産が盛んだが、米やとうもろこしの生産は極めて少ない。 | 3. 熱帯に位置し、乾季と雨季のはっきりした気候を利用して、自給用の雑穀や油ヤシの栽培が行われている。 | 4. 広大な国土に多様な気候帯を持ち、適地適作の考え方に基づいて小麦、米、とうもろこしをバランスよく大量に生産している。 |
|--|--|---|--|
- 問10 統計資料において、1人あたりの国民総所得が非常に高く、輸出額の大部分を自動車や機械類などの工業製品が占めている、ヨーロッパ最大の工業国に該当する国を選びなさい。（2023年 新潟県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|--------|----------|-------------|
| 1. ブラジル | 2. ドイツ | 3. マレーシア | 4. 南アフリカ共和国 |
|---------|--------|----------|-------------|
- 問11 1989年の冷戦終結宣言や1991年のソビエト連邦解体といった国際情勢の大きな変化を経て、ヨーロッパ諸国は経済面だけでなく政治的な統合もさらに深める必要に迫られました。その結果、1993年に発効したある条約に基づいて発足した、現在のヨーロッパの統合組織の名称と、その根拠となった条約の正しい組み合わせを選びなさい。（2026年 山梨県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------------------------|----------------------------|----------------------------|------------------|
| 1. ヨーロッパ連合（EU） — マーストリヒト条約 | 2. 北大西洋条約機構（NATO） — 北大西洋条約 | 3. ヨーロッパ経済共同体（EEC） — ローマ条約 | 4. 国際連合 — 国際連合憲章 |
|----------------------------|----------------------------|----------------------------|------------------|
- 問12 ギリシャなどの地中海沿岸では、伝統的に「石」を材料とした住居が多く見られます。このように石づくりの家が普及した背景や理由を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2019年 新潟県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 夏の乾燥により樹木が育ちにくく木材が貴重な一方で、身近で石材が手に入りやすく、断熱性にも優れていたため。 | 2. 冬の積雪が非常に多いため、雪の重みで建物が倒壊しないよう、強固な石の柱で支える必要があったため。 | 3. 地震が非常に多いため、日本の伝統的な建築と同様に、しなやかさを持つ石材が重視された。 | 4. 一年を通じて降水量が多く、木材が腐敗しやすいため、耐久性の高い石が選ばれた。 |
|---|---|---|---|